

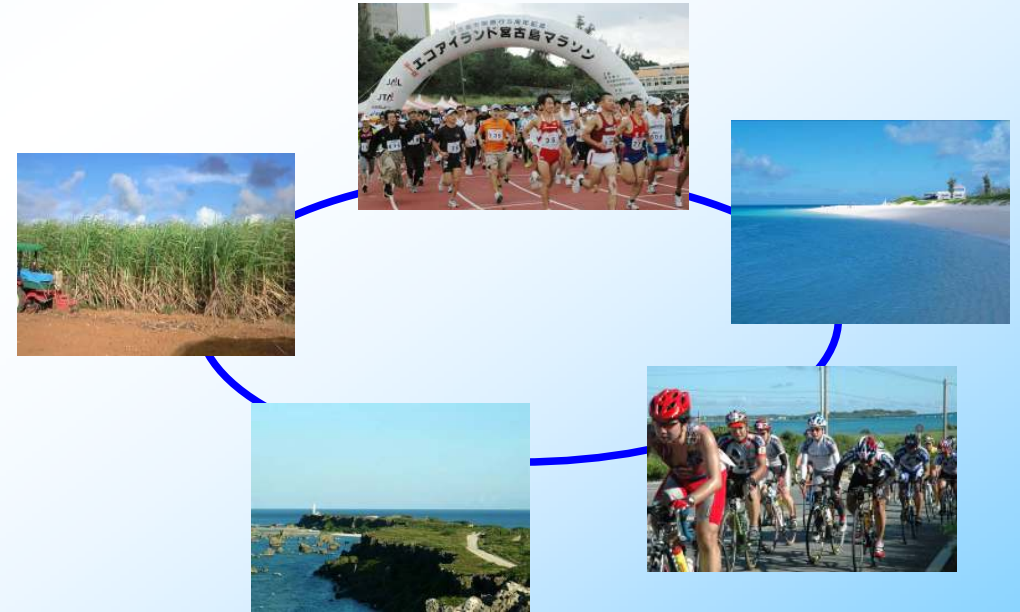
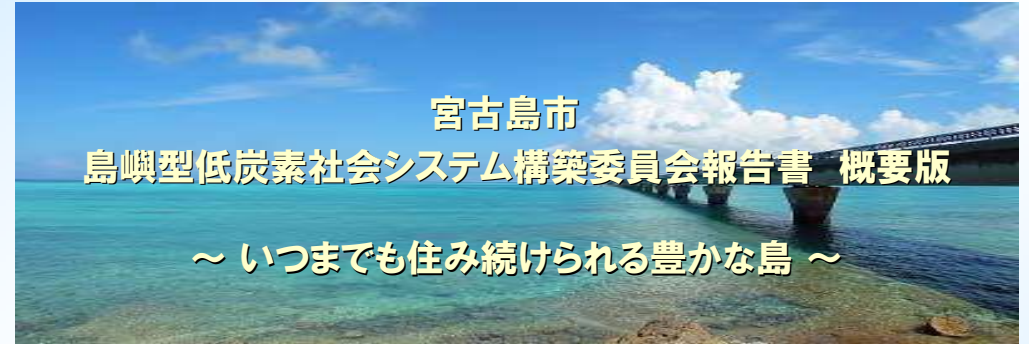


島嶼型低炭素社会システム構築に向けた中・長期ロードマップ



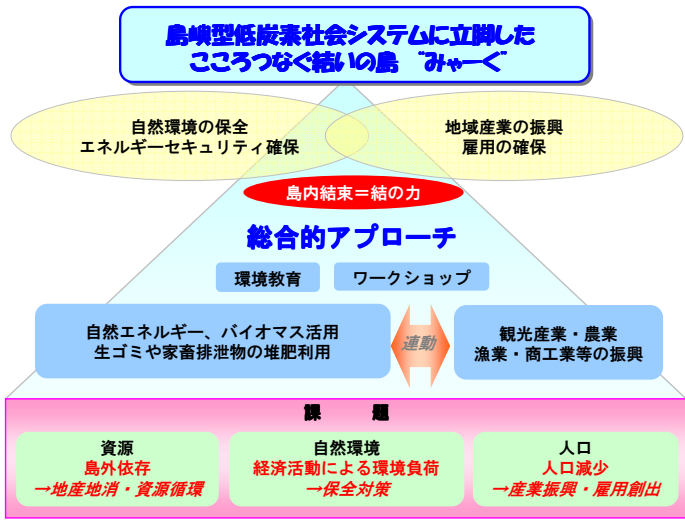
宮古島市役所 企画政策部 エコアイランド推進課

〒906-8501 沖縄県宮古島市平良字西里186番地
 TEL 0980-72-3751
 FAX 0980-72-3795
 メールアドレス ts.ecotown@city.miyakojima.lg.jp



平成23年2月
 沖縄県 宮古島市

1. 全体構想



実現すべき目標

島内資源循環型社会の確立
自然環境(観光資源)の保全
地域産業振興、人口減少抑制

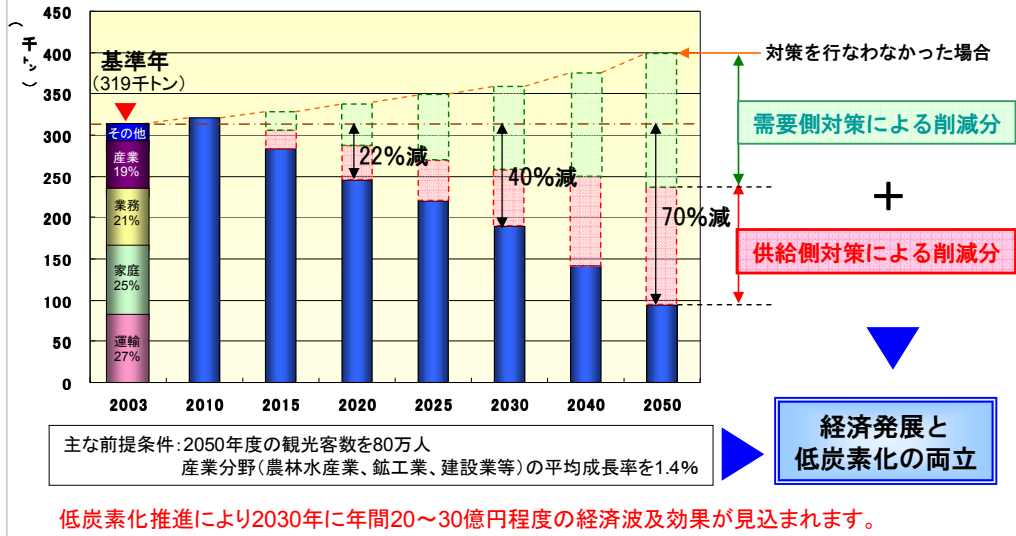
低炭素化の実現

2030年度 削減目標: 30~40%
2050年度 削減目標: 70~80%

低炭素化の位置づけ

課題解決のためのキーワード
地域力向上への足がかり
宮古島を国内外にアピールする機会

2. 二酸化炭素削減目標 (アクションプラン実行による推計)



3. 二酸化炭素削減に向けた主なアクションプラン

産業部門の対策 (需要側)

- 省エネ化 (2020年までに5%、2030年までに10%改善)**
 - 農機具の電動化、廃食油などの利用拡充
 - 省エネ設備導入の融資制度検討、導入
- 再生可能エネルギーの導入**
 - 化石燃料を使わない農業の仕組み作り
 - 循環型農業による農産物の高付加価値化手法検討

島内全般に関する対策 (基盤形成)

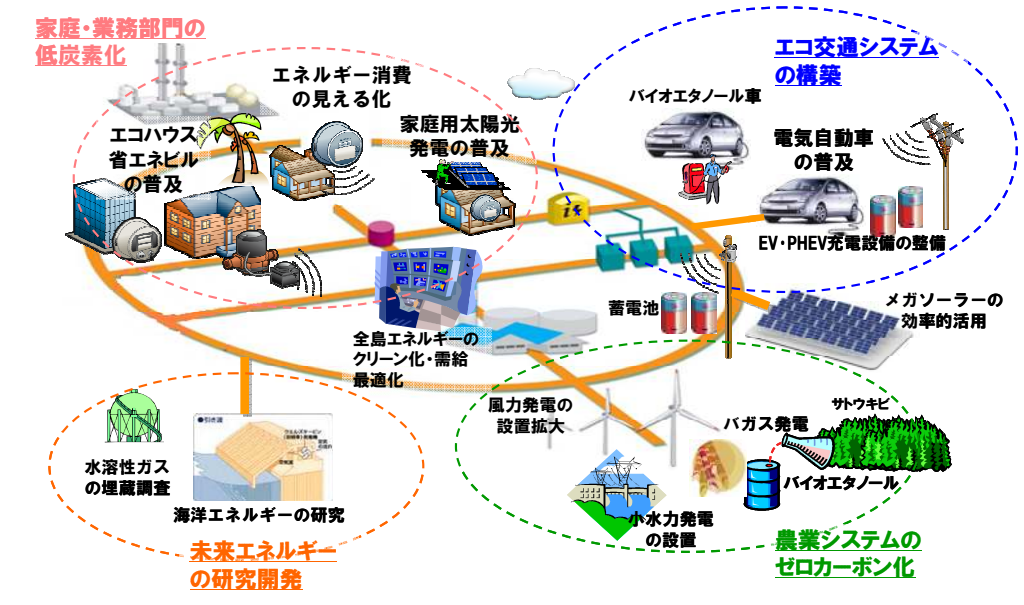
- 啓発活動、環境教育の実施と人材育成**
 - 初期教育、学校、地域社会での環境教育実施
 - エコガイド、エココーディネーター等の人材育成
 - 各団体間のネットワーク整備による、交流と相乗効果
 - エコアクションポイントの導入(「見える化」実施)
- 財源の確保**
 - 環境対策協力金等の創出検討
- 地産地消の実現**
 - 再生可能エネルギーを効率的に利用した事業化の検討
 - ゴミ・家畜排泄物・残渣など島内資源の最大利活用
 - バイオマス資源の収集体制の整備と統合利用

運輸部門の対策 (需要側)

- 自家用車依存度低減 (2020年までに5%、2030年までに10%台数削減)**
 - 公用車のカーシェアリング
 - 自転車の活用促進、利用環境整備
 - ノーマイカーデーの実施
 - バスの有効利用、市街地への車両乗り入れ規制
 - 小中学生の自家用車送迎回避方法の検討
- バイオエタノール燃料車の普及促進 (2020年までに全島E10化)**
 - E3、E10給油設備の全島普及
 - エタノール燃料車導入促進税制の検討
- EV(電気自動車)の普及促進 (2020年までに20%、2030年までに40%普及)**
 - 公用車、タクシー、観光交通等のEV化
 - 充電設備の整備
 - 購買費用の負担軽減策検討
 - 島内事業者へのEV技術導入と普及検討

業務部門の対策 (需要側)

- 省エネ化 (面積あたり2020年までに10%、2030年までに15%改善)**
 - 新設ホテル等の省エネ設計のルール化検討
 - 省エネ診断サポートの実施
 - 省エネ情報交換会、商談会の開催
 - 省エネ機器購入時の融資制度検討
- 再生可能エネルギーの導入**
 - 公共施設等への太陽光発電設備の設置



エネルギー部門の対策 (供給側)

- パガス発電**
 - 製糖用発電設備の統合等による最大活用検討
- 太陽光発電(メガソーラー)**
 - 系統電力への影響を踏まえた適正導入量の検討
 - 小規模離島への導入による地産地消モデル検討
- 風力発電**
 - 系統電力への影響を踏まえた適正導入量の検討
 - 小規模離島への導入による地産地消モデル検討
- 未利用エネルギー等 (2030年~2050年に11万MWh/年導入)**
 - 水溶性天然ガス、海洋(潮力、波力)、下水汚泥、廃棄物、太陽熱等の活用